

2015年度(2015年4月～2016年3月) 公衆衛生看護学分野 業績

分野構成(2016年4月1日時点)

教授:大森純子、准教授:田口敦子、助手:竹田香織、研究補佐員2名
大学院(博士課程)5名、大学院(修士課程)7名、卒業研究生10名

主な研究テーマ

米国の公衆衛生領域で主流となっている(CBPR:Community Based Participatory Research)という研究スタイルを用い、保健師など保健行政の関係職種や住民の方々と一緒に、「"地域への愛着"を育む健康増進プログラムの開発」、「近隣住民間の交流促進プログラムの開発」などに取り組み、個人変容と社会変容に参画しています。また、住民ボランティアと保健行政の関係職種がどのように協働していけばよいかについても探索しています。

【主な研究テーマ】

1. 文化と健康観・ヘルスプロモーションに関する研究
2. 地域への愛着と健康に関するプログラム開発、地域への愛着を育む方法論(メソッド)開発
3. 行政と住民ボランティアの効果的な協働方法および評価に関する研究
4. 地域保健をめぐる政治・行政に関する研究

主な研究業績(2014年1月以降) ※2014年1月に分野新設のため

【主な研究論文】

- ・ 大森純子, 三森寧子, 小林真朝, 小野若菜子, 安齋ひとみ, 高橋和子, 宮崎紀枝, 酒井太一, 齋藤美華. 公衆衛生看護のための“地域への愛着”の概念分析. 日本公衆衛生看護学会誌. 2014;3(1):40-48.
- ・ 大森純子, 小林真朝, 小野若菜子, 麻原きよみ. コミュニティアセスメントの実践的演習の成果. 聖路加看護大学紀要. 2014;40:105-11.
- ・ 大森純子, 小西恵美子, 麻原きよみ. 健康課題としての放射線防護 保健師による実際的な活動モデルに向けて・3 保健師の実践へのヒント①:ベラルーシ視察報告から学ぶ. 保健師ジャーナル. 2014;70(7):626-30.
- ・ Taguchi A, Nagata S, Naruse T, Nagata S, Yamaguchi T, Murashima S. Identification of the need for home visiting nurse: development of a new assessment tool Int J Integr Care. 2014;14.

【主な著書】

- ・ 大森純子. In: 齋藤清二, 山田富秋, 本山方子(編). 質的心理学フォーラム選書1 インタビューという実践. 東京: 新曜社; 2014.
- ・ 大森純子. In: 佐伯和子(編). 衛生看護学テキスト2 公衆衛生看護技術. 東京: 医歯薬出版; 2014.

【主な学会発表】

- ・ 三森寧子, 高橋和子, 大森純子, 酒井太一, 齋藤美華, 小林真朝, 小野若菜子, 安齋ひとみ, 宮崎紀枝, 戸田亜紀子, 三笠幸恵. 向老期世代の“地域への愛着”を測定する尺度の開発(第3報) —健康関連 QOLとの関連性—. 第2回日本公衆衛生看護学会学術集会; 2014 Jan 12-13; 小田原.
- ・ 酒井太一, 大森純子, 高橋和子, 三森寧子, 齋藤美華, 小林真朝, 小野若菜子, 宮崎紀枝, 安齋ひとみ, 戸田亜紀子, 三笠幸恵. 向老期世代の“地域への愛着”を測定する尺度の開発(第1報) —“地域への愛着”尺度項目の検討—. 第2回日本公衆衛生看護学会学術集会; 2014 Jan 12-13; 小田原.
- ・ 高橋和子, 大森純子, 酒井太一, 三森寧子, 齋藤美華, 小林真朝, 小野若菜子, 安齋ひとみ, 宮崎紀枝, 戸田亜紀子, 三笠幸恵. 向老期世代の“地域への愛着”を測定する尺度の開発(第2報) —関連要因の検討—. 第2回日本公衆衛生看護学会学術集会; 2014 Jan 12-13; 小田原.
- ・ Masuyama M, Takeda K. "Instant Parliamentary Deliberations Are in Our Reach." The 2014 Annual Meeting of the American Political Science Association; 2014 Aug 28-31; D.C.

1. 原著論文・総説（査読あり）

- Kawasaki C, Omori J, Ono W, Konishi E, Asahara K. Public Health Nurses' Experiences in Caring for the Fukushima Community in the Wake of the 2011 Fukushima Nuclear Accident. Public Health Nursing [Internet]. 2015 Aug 28. doi: 10.1111/phn.12227.
- Nagata S, Ogawa K, Taguchi A, Naruse T, Murashima S, Magilvy JK. Promoting the use of visiting nurse services for patients discharged from hospital: Evaluation of a Japanese municipality's model project. Home Health Care Management & Practice. 2015;27(2):47-53.
- Sakai M, Yanase H, Taguchi A, Naruse T, Nagata S. Community residents' confidence in spending their end-of-life at home and the related factors: a cross sectional study. Japanese Journal of Health and Human Ecology. 2015;81(4):122-133.
- 田口敦子, 永田智子, 成瀬昂, 栗原雄樹, 山口拓洋, 村嶋幸代. 訪問看護必要性アセスメントシートの一般化可能性および活用可能性の検討. 日本医療・病院管理学会誌. 2015;52(2):5-15.
- 柳瀬裕貴, 成瀬昂, 田口敦子, 永田智子. 終末期在宅療養の実現可能性に関する地方中核都市と郡部在住の住民の認識とその関連要因. 日本地域看護学会誌. 2015;18(2,3):23-32.

2. 著書

- 大森純子. 第2章 公衆衛生の活動対象, 大森純子, 有本梓, 蔭山正子, 小野若菜子, 宮本有紀, 相田潤, 梅田麻希, 鈴木まき(分担執筆). 第7章 地域保健. In: 神馬征峰, 大森純子, 宮本有紀(編集代表). 系統看護学講座 健康支援と社会保障制度②. 公衆衛生. 東京: 医学書院; 2015. p. 43-60, 147-275.
- 田口敦子, 大塚剛, 小澤幸子, 鎌石佐織, 瀬戸裕司, 東森佳子, 細野純, 前田岳史, 柴口里則, 唐木美代子, 下出和子(編者). ケアマネジャーのための医療職との連携ハンドブック. 東京: 一般社団法人 日本介護支援専門員協会; 2015. 209p.

3. 紀要・解説

- 大森純子. 卒業研究における概念分析の適用可能性と教育的効果. 東北大学医学部保健学科紀要. 2015;24(1):1-6.
- 大森結実, 田口敦子, 加藤政子, 佐々木夫起子, 高橋正美, 大森純子. 慢性疾患患者の退院後の療養生活からみた病棟看護師による退院支援内容の検討 -退院支援ハイリスク者事例に関する看護記録とインタビューから-. 東北大学保健学科紀要. 2015;24(1):77-88.
- 末永カツ子, 高橋香子, 栗本鮎美, 田口敦子, 大森純子. 東北大学大学院医学系研究科保健師養成コースの解説について(第2報) -東北大学保健師養成コースで養成する人材像-. 東北大学保健学科紀要. 2015;24(1):7-13.
- 田口敦子, 奥田春花, 吉田和子, 五十嵐ひとみ, 佐藤裕子, 佐々木夫起子, 山内かず子, 永田智子. 大学病院における退院支援スクリーニング指標の基準関連妥当性の検討. 東北大学保健学科紀要. 2015;24(1):19-27.
- 吉田礼維子, 針金佳代子, 若山好美, 小澤涼子. 保健師の専門性の学びを深める選択実習の成果 -健康なまちビジョン、計画立案を通して-. 天使大学紀要. 2015;15(2):1-13.

4. 国際学会発表

- Kageyama M, Nagata S, Shimazu T, Taguchi A, Magilvy K. Analogy patterns of public health nurses in department transfers. The 6th international conference on community health nursing research (ICCHNR); 2015 Aug 19-21; Korea.
- Kawasaki C, Yabuki A, Konishi E, Ono W, Kikuchi T, Orita M, Omori J, Arakida M, Kobayashi M, Mitsumori Y, Asahara K. Developing radiation teaching materials for Public Health Nurses of Fukushima, Japan. 18th East Asian Forum of Nursing Scholars; 2015 Feb 5-6; Taipei.
- Konishi E, Yabuki A, Kikuchi T, Mitsumori Y, Omori J, Arakida M, Orita M, Kwasaki C, Ono W, Kobayashi M, Asahara K. Multidisciplinary approach to promote a practical radiation culture in Fukushima, Japan. 18th East Asian Forum of Nursing Scholars; 2015 Feb 5-6; Taipei.
- Taguchi A, Murayama H, Miyao C, Yamaguchi T. A new health education program on dietary variety for

the community elderly: implementation by health promotion volunteers. 143rd American Public Health Association Annual Meeting & Exposition; 2015 Oct 31–Nov 4; Chicago.

5. 国内学会発表

- ・井上京子, 今野浩之, 高橋直美, 豊嶋三枝子, 佐藤志保, 槌谷由美子 et al. 「山形発・地元ナース養成プログラム」展開の基礎研究4—小規模病院等看護師に求められる能力—。第35回日本看護科学学会学術集会; 2015 Dec 5-6; 広島。
- ・大橋由基, 田口敦子, 大森純子. 男性保健師の職務経験の特徴に関する文献的検討. 第74回日本公衆衛生学会総会; 2015 Nov 4-6; 長崎。
- ・大森純子, 三笠幸恵, 三森寧子, 小林真朝, 今村晴彦, 地域への愛着研究会(ワークショップ) 地域の底力の礎“地域への愛着”を育む実践—遠慮がちなソーシャルキャピタルの発掘と育成—. 第3回日本公衆衛生看護学会学術集会; 2015 Jan 10-11; 神戸。
- ・小澤涼子, 柴田和恵, 田中さおり, 那須典政. 実習直前での危険予知トレーニング(KYT)の試み 実習終了後の危険予知に対する意識の学年比較. 第35回日本看護科学学会学術集会演題集; 2015 Dec 5-6; 広島。
- ・今野浩之, 高橋直美, 豊嶋三枝子, 井上京子, 佐藤志保, 槌谷由美子 et al. 「山形発・地元ナース養成プログラム」展開の基礎研究1—小規模病院等利用者の特徴と看護の課題—. 第35回日本看護科学学会学術集会; 2015 Dec 5-6; 広島。
- ・柴田和恵, 田中さおり, 小澤涼子, 那須典政. 実習直前での危険予知トレーニング(KYT)の試み—看護学生の危険予知の実態 第1報—. 第46回日本看護学会看護管理学術集会; 2015 Oct 8-9; 福岡。
- ・白川美弥子, 沖永美幸, 藤春千恵美, 佐伯由美, 横川詩織, 田口敦子, 深堀浩樹, 菅野雄介, 矢津剛, 佐藤一樹, 宮下光令. 在宅緩和ケアの質担保に向けたチェックリストおよび教育プログラムの開発(第2報)—訪問看護師調査による検討. 日本緩和医療学会; 2015 Jun 18-20; 横浜。
- ・菅原京子, 今野浩之, 志田淳子, 鈴木育子, 柴田ふじみ, 後藤順子. 地域看護管理を主要な目標とした実習の教育方法の検討—第3報—. 第74回日本公衆衛生学会総会; 2015 Nov 4-6; 長崎。
- ・高橋直美, 豊嶋三枝子, 井上京子, 今野浩之, 佐藤志保, 槌谷由美子 et al. 「山形発・地元ナース養成プログラム」展開の基礎研究2—小規模病院等の現任教育の実態と課題—. 第35回日本看護科学学会学術集会; 2015 Dec 5-6; 広島。
- ・田口敦子, 鎌田久美子, 山下真由美, 森松 薫, 王丸才恵子, 塚本忍. 地域包括ケア実現に向けた在宅医療推進事業評価指標の開発. 第74回日本公衆衛生学会; 2015 Nov 4-6; 長崎。
- ・田口敦子, 菅野雄介, 横川詩織, 白川美弥子, 沖永美幸, 藤春千恵美, 佐伯由美, 矢津剛, 深堀浩樹, 佐藤一樹, 宮下光令. 在宅緩和ケアの質担保に向けたチェックリストおよび教育プログラムの開発(第1報)—文献検討—日本緩和医療学会; 2015 Jun 18-20; 横浜。
- ・田中さおり, 柴田和恵, 小澤涼子, 那須典政. 実習直前での危険予知トレーニング(KYT)の試み—看護学生の危険予知の実態(第2報). 第35回日本看護科学学会学術集会演題集; 2015 Dec 5-6; 広島。
- ・槌谷由美子, 山田香, 井上京子, 沼澤さとみ, 南雲美代子, 高橋直美, 今野浩之, 遠藤恵子. 看護場面における学生のコミュニケーションの特徴(第一報)—動作解析ソフトを使用した分析—. 第35回日本看護科学学会学術集会; 2015 Dec 5-6; 広島。
- ・豊嶋三枝子, 井上京子, 今野浩之, 高橋直美, 佐藤志保, 槌谷由美子 et al. 「山形発・地元ナース養成プログラム」展開の基礎研究3—小規模病院等の人事交流の実態とニーズ—. 第35回日本看護科学学会学術集会; 2015 Dec 5-6; 広島。
- ・村山洋史, 田口敦子, 山口拓洋. 健康推進員主導型の栄養改善プログラム: 高齢期の食品摂取多様性への効果. 第74回日本公衆衛生学会; 2015 Nov 4-6; 長崎。
- ・矢津剛, 白川美弥子, 沖永美幸, 藤春千恵美, 佐伯由美, 田口敦子, 横川詩織, 深堀浩樹, 菅野雄介, 佐藤一樹, 宮下光令. 在宅緩和ケアの質担保に向けたチェックリストおよび教育プログラムの開発(第3報). 日本緩和医療学会; 2015 Jun 18-20; 横浜。
- ・山田香, 槌谷由美子, 井上京子, 南雲美代子, 沼澤さとみ, 今野浩之, 高橋直美, 遠藤恵子. 看護場面における学生のコミュニケーションの特徴(第二報)—ロールプレイング後の振り返りの分析から—. 第35回

日本看護科学学会学術集会; 2015 Dec 5-6; 広島.

6. 外部資金獲得（主任研究）※2015年度の新規獲得のみ（継続分は昨年度報告済み）

- ・大森純子(主任研究者). 地域の底力を高める「地域への愛着メソッド」の汎用性開発. 平成 27 年度科学研究費補助金(基盤研究(B)). 2015 Apr-2018 Mar.
- ・大森純子(主任研究者). 原子力災害リスクに対する備えの看護職間ネットワーク構築に関するエスノグラフィ. 平成 27 年度科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究(B)). 2015 Apr-2017 Mar.

7. 外部資金獲得（分担研究）※2015年度の新規獲得のみ（継続分は昨年度報告済み）

該当なし

8. 外部資金獲得（その他）※2015年度の新規獲得のみ（継続分は昨年度報告済み）

- ・田口敦子(主任研究者). 滋賀県内訪問看護ステーションの総合的な支援に関する調査. 滋賀県平成 26 年度訪問看護総合支援事業費補助金. 2015 Jan-Mar.